

医療安全 ワンポイント 31

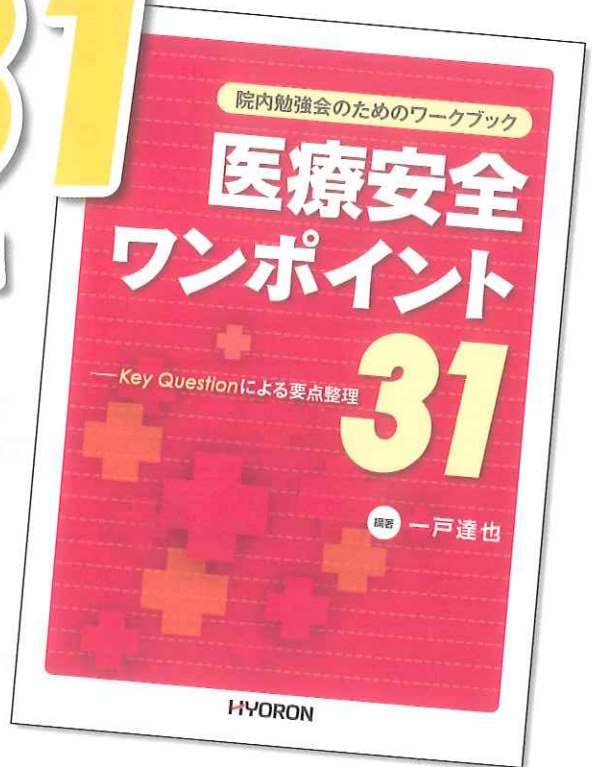
—Key Questionによる要点整理

編著

一戸達也 [東京歯科大学副学長・
同歯科麻酔学講座教授]

- 診療所における「医療安全管理体制の整備」に不可欠な院内研修会（抄読会）等に最適なワークブック！
- 全スタッフで取り組めるよう、「医療安全」にかかわる31のトピックスを、1項目4頁でわかりやすく解説。
- Key Questionに基づき要点を整理し、Key Pointでまとめています。

■ B5判・132頁・定価（本体3,500円+税）



ページ見本

64 医療安全 ワンポイント 31

3 生体モニタの活用 ワンポイント

3-2. 最高血圧と最低血圧 どっちが大事？

Key Question

- ① 最高血圧と最低血圧の正常値は、何 mmHg なのでしょう？
② 歯科治療時に血圧が問題となるのは、どんな時でしょうか？



図1 自動血圧計による測定結果

いますか、最高血圧の値ばかりに気を取られてはいませんか。

■ 血圧とは（最高血圧と最低血圧）

血圧とは、心臓から送り出された血液が血管壁に与える圧のことです。全身の血管には静脈を含めてすべてに圧がかかっていますが、一般的に「血圧」というと、上腕で測定した動脈圧のことを指します。単位には mmHg（水銀柱ミリメートル）が用いられ、最高血圧140mmHg未満、最低血圧90mmHg未満が正常値の範囲とされています（図2）。

最高血圧は収縮期血圧とも呼ばれ、全身に血液を送り出すために心臓が収縮した時の血圧のことです。1回の収縮で約70mlの血液が送り出されますが、最高血圧とはこの送り出された血液の圧のピーク値を測定したものです。一方、最低血圧は拡張期血圧とも呼ばれ、心臓が拡張し血液を補充している時の圧の最低値を測定したものです。拡張期には心臓から直接血液を送り出さ

家庭などにある自動血圧計で血圧を測定すると、必ず最高血圧と最低血圧が表示されます。図1は自動血圧計で血圧を測定した時のものですが、aの血圧は最高血圧が高く、bの血圧は最低血圧が高くなっています。このような血圧を目にした時、あなたはどちらが危険な状態だと思いますか。

3-2. 最高血圧と最低血圧どっちが大事？ 65

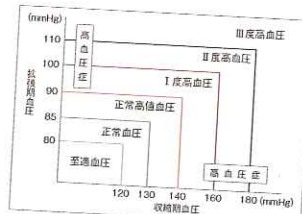


図2 世界保健機関（WHO）と日本高血圧学会（JSH）による高血圧症の分類

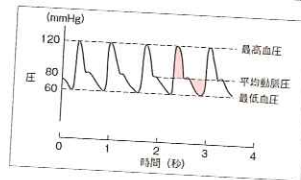


図3 上腕動脈の圧波形（最高血圧、最低血圧、平均動脈圧の随時）、平均動脈圧：1心拍周期を以ての血圧の時間平均（平均動脈圧の上下の陰影部の面積は等しくなる）。

れませんが、収縮期に送り出された血液によって大動脈が拡張し、そこに血液の一部が留まり、拡張期に大動脈が元の太さに戻ろうとして、そこに蓄えられてあった血液を末梢動脈に送り出します。そのため血液は途絶えることなく全身を流れ、正常な状態であれば血圧がゼロになることはありません。

しかし、直接心臓から血液を送り出している時より圧は低く、その時の最低点が最低血圧となります。つまり最高血圧と最低血圧とは、変動する圧の波の最も高いところと最も低いところ、ということになります（図3）。

■ 動脈硬化が血圧に与える影響

心臓の収縮により高い圧で血液が押し出されても、血管に弾力があれば圧は吸収されて弱まります。しかし血管が硬くなり弾力が失われると、圧は弱まらないまま血液は流れます。これが動脈硬化によって最高血圧が上昇する原因です。つまり、歯科治療中の緊張や痛みなどによって交感神経が刺激され心臓の収縮力が強まると、若く弾力のある血管では圧が吸収され血圧の上昇は抑えら

保険の義歯だからこそ“より良いものを、より効率よく!”

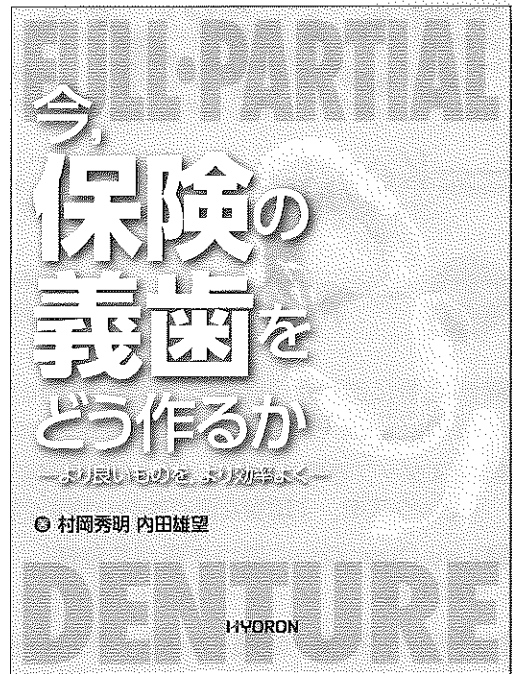
今、保険の義歯をどう作るか

—より良いものを、より効率よく—

著 村岡秀明 (千葉県/むらおか歯科・矯正歯科クリニック)
内田雄望 (福岡県/歯科ウチダクリニック)

- 1996年以来20年にわたるロングセラー「保険の総義歯をどう作るか」に、「保険のパーシャルデンチャー」を加えた全面改訂新版。
- 不採算と言われる“保険の義歯”について、いかに効率よく、かつ良いものを作れるかを考え、そのテクニックを提示。
- 読みやすい文章と多くの写真でわかりやすく解説。

A4変判・96頁・オールカラー・定価(本体7,000円+税)



すべての歯科治療の基本となる咬合について、症例を通して学ぶ実践書!

Dr.鈴木 尚の臨床Advice

症例から学ぶ咬合論

—深い咬合をやさしく学ぶ—

著 鈴木 尚
(東京都・ナオ歯科クリニック/日本顎咬合学会指導医/
明海大学歯学部臨床教授)

- 咬合の理論と実際の臨床の関わりがよくわかる!
- ・ 総義歯とブリッジの製作を通して、臨床で必要とされる咬合理論を解説。臨床のどの場面で、どのように咬合に関わるかが、体系的に理解・習得できます。
- ・ 具体的対応例として、咬合に問題の原因があった症例を取り上げ、診査・診断と治療のポイントを詳述しています。

A4変判・144頁・オールカラー・定価(本体8,000円+税)

